

鳴野識字・日本語交流教室見学について（報告）

1 実施日時 令和元年9月17日（火） 19時15分～20時35分

2 参加者 区政会議委員3名
（内訳：こども・教育部会2名、まちづくり部会1名）

3 当日の内容

①事業・教室概要説明

（1）大阪市教育委員会の識字・日本語教室について

【大阪市教育委員会事務局生涯学習担当より】

（2）鳴野識字・日本語交流教室について

【鳴野識字・日本語交流教室代表より】

②教室の様子を視察

③ボランティアスタッフの方を含めた意見交換（15分程度）

（意見交換の主な内容）

- ・単に日本語を学ぶ場だけでなく、学習者にとっての居場所、社会参加の入口であり、学習者とボランティアが相互に学び合う場であることを大切にしている。
 - ・地元の人でもこの教室のことを知らない。SNS等での周知も必要ではないか。
 - ・学習者の方は、インターネットや生涯学習の案内を見て参加されており、鳴野や城東区内在住に限らず受け入れている。最近は外国人を雇用する企業からの問い合わせも増えてきている。
 - ・学習者によって教室に求めるニーズが違う（読み書き、会話など）。まず相手のニーズを確認した上で、対応にはスキルが求められるので、自分も勉強している。
 - ・ボランティアスタッフとして難しい部分もあるが、文化の違いを知ることができたり、日本語についても新たな気づきを得られ、やりがいがある。
 - ・教室運営について設備の問題や、学習の進め方や教材など、工夫していかないといけない。
 - ・区役所で日本語教室を行う予定はないのか。区役所が、日本語を学ぶことができたり、外国人の困りごとを聞いてもらえるような拠点になればよいと思う。
- 等